

第7回

教育情報化カンファレンス

未来に生きる子どもたちに 必要な情報活用能力を育てる inおおいた

情報社会の進展が目覚ましい今日、変化の激しい時代を生き抜く子どもたちには、生きる力として情報活用能力が求められています。

今回のカンファレンスは、教育に携わる関係者に向けて、「未来に生きる子どもたちに必要な情報活用能力を考える」をテーマに、現在のIT技術（人工知能:AIやロボティクス等）の最新動向やこれからの教育に求められること、情報セキュリティ対策の重要性、について有識者に講演いただきます。また、県内外の学校現場での実践を紹介することで、これからの情報教育を考え、役立てる機会となることを目的に開催します。



参加
無料

日時 平成30年

7/27 金

開場:12:00 / 開会:13:00-17:00

対象 県内外の教職員、市町村教育委員会、教育に携わる企業・団体、PTA、学生、個人等

会場 J:COM ホルトホール大分
3階 大会議室

<http://www.horutohall-oita.jp/>
(大分県大分市金池南1丁目5番1号)

定員 250名程度

事前に
お申し込みください

概要

テーマ:「テクノロジーとどう向き合うべき? AI時代に求められる教育」講師:林 信行 (ジャーナリスト)

テーマ:「サイバーセキュリティの現状と人材育成」講師:園田 道夫 (国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)ナショナルサイバートレーニングセンター センター長)

〈実践発表〉

〈子どもたちの発表〉

プログラム・申込方法は裏面をご覧ください。
または右のQRコードを読み取ってください。



主催 大分県教育委員会
公益財団法人 ハイパーネットワーク社会研究所

●お問い合わせ先 大分県教育庁 教育財務課情報化推進班
☎097-506-5464 メールアドレス:zaimu@oen.ed.jp

〈Webページ〉<http://www.pref.oita.jp/site/kyoiku/2018conf.html> 〈facebookページ〉<https://www.facebook.com/eduinfo.oita>

12:00～ 受付開始

13:00～ 開会挨拶

13:10～ **講演 1**

林 信行 (ジャーナリスト)

テーマ 「テクノロジーとどう向き合うべき? AI時代に求められる教育」

内容 10年前に登場したスマートフォンやソーシャルメディアが世界を一変させました。今度はAIが生活や社会のあらゆる側面を激変させます。その未来では、これまで教えてきたことの多くは無価値になるでしょう。一方で、これまで教育が軽視してきたものこそが重要になります。これから社会はどう変貌するのか。その時代、教育は子ども達にどんな機会を与えるべきか。新時代の教育でテクノロジーをどう活用すべきなのか答えのない問いを、事例を通して模索します。

14:10～ **講演 2**

園田 道夫 (国立研究開発法人 情報通信研究機構(NICT)ナショナルサイバートレーニングセンター センター長)

テーマ 「サイバーセキュリティの現状と人材育成」

内容 サイバー攻撃は社会的に非常に厄介なものになってきています。攻撃はとても簡単で大きな効果を得ることができますが、防御は膨大な社会的コストをつぎ込んでも常に後手に回り完全には防げない状態です。こういう時代にセキュリティとしてどんなものが求められているのか、それに応えられる人材とはどんな人材なのか、この点について、実際に仕掛けている人材育成事業を紹介しながら論じていきたいと思います。

15:00～ 休憩15分

15:15～ 〈実践発表〉

佐藤 見竜 (株式会社Ednity 代表取締役)

◆テーマ「これからの学校現場のデータ活用とテクノロジーの在り方」

峯 和香奈 (大分県立竹田支援学校 教諭)

佐伯 竜平 (中津市立鶴居小学校 教諭)

16:15～ 〈質疑応答〉

16:35～ 〈子どもたちの発表〉

臼杵市立南中学校 生徒会

大分県立玖珠美山高等学校 農業クラブ

17:00 閉会



林 信行

(はやし のぶゆき)

ジャーナリスト

コンサルタント/ジャーナリスト。「ステキな未来」をキーワードに執筆や講演や企画プロデュースを行う。ベネッセ総合教育研究所でAI時代を見据えた教育を探る連載「SHIFT」の執筆や座談会「あすコラ」に関与。全国の高校生が集まるパソコン甲子園の審査員もやっている。ifs未来研究所研究員。ジェームズ・ダイソン財団理事。Revolver社社外取締役。著書多数。日経産業新聞で「Smart Times」を連載中。



園田 道夫

(そのだ みちお)

国立研究開発法人
情報通信研究機構(NICT)
ナショナルサイバートレーニングセンター
センター長

2004年より経済産業省、JIPDEC、IPA主催セキュリティ・キャンプに企画、講師、実行委員として携わり、次代を担う情報セキュリティ人材の発掘・育成に力を入れている。2008年に経済産業省商務情報政策局長表彰を受け、2007年より白浜サイバー犯罪シンポジウム危機管理コンテスト審査委員、2012年よりSECCON実行委員(事務局長)、2016年より国立研究開発法人情報通信研究機構セキュリティ人材育成研究センター長、2017年よりナショナルサイバートレーニングセンター長に就任。2018年には情報セキュリティ文化賞表彰を受ける。



佐藤 見竜

(さとう けんりゅう)

株式会社 Ednity
代表取締役

大学卒業直後、2013年7月に株式会社Ednityを設立。在学中にアメリカ・ロサンゼルスへ留学。留学期間中にサンフランシスコヤスタンフォード大学での研修プログラムへ参加。そのプログラム内でサンノゼのチャータースクールを訪問し、そのことがきっかけとなり創業。Ednityは、学校の先生の不安と負担を解消し、生徒の力を引き出すことをミッションとし、学校や学習環境をデザインする会社。現在は学校向けのコミュニケーションサービス、出欠管理サービス、成績管理サービスといった学校の教務支援システムの事業を展開。

※その他の講師プロフィールは Web に掲載しています。

カンファレンスのお申込について

○Webからの場合… キーワード **第7回教育情報化カンファレンス** **検索** をクリック

○メールからの場合… zaimu@oen.ed.jp ○FAXからの場合… 097-537-8820 (ハイパーネットワーク社会研究所)

メールかFAXでお申込をされる場合は、以下の内容でお送りください。



氏名:	<input type="checkbox"/> 大分県内	<input type="checkbox"/> 大分県外 ()
学校・所属名:		
TEL:	FAX:	
E-mail:	@	
このカンファレンスをどの情報から知りましたか? (複数回答可)		
<input type="checkbox"/> 教育委員会からの文書 <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> Twitter		
<input type="checkbox"/> Webページ <input type="checkbox"/> 知人からの紹介 <input type="checkbox"/> その他 ()		